

令和7年7月14日(月) 命の大切さを学ぶ教室

犯罪や交通事故によって大切な家族を亡くした被害者遺族から、中学生に対して、被害によって受ける様々な苦しみ、子どもを亡くした親の思い、二度と同じような犠牲者が出ないことへの願いなどといった命や思いやりの大切さを直接語りかけられました。また、福岡県警察本部や飯塚警察署も来校されました。

読賣新聞7月17日(木)筑豊版

娘が交通死 命の大切さを訴え 飯塚鎮西校で母講演

四女を交通事故で亡くした北九州市在住の池田おかりさん(51)が、飯塚市の市立小中一貫校飯塚鎮西校で講演し、命の大切さを訴えた。

2016年12月、池田さんの四女・陽菜さん(当時6歳)は、自宅近くの交差点で車にはねられて亡くなった。池田さんは事故を減らしたいとの思いから、陽菜さんの生涯を描いた絵本を制作し、講演活動をしている。

14日は中学3年にあたる9年生

がランチルームで池田さんの話を聞き、7、8年生は教室で配信さ



陽菜さんとの思い出を振り返り、命の大切さを訴えた池田さん

れた講演の映像を見た。

池田さんは、事故後に病院で陽菜さんと対面した時は「全身の血液が逆流するような、立ってられないような感覚だった」と振り返り、生徒たちへ「人生には限りがある。一日一日を大切に過ごしてほしい」と呼びかけた。

9年生の久保真実さん(14)は「後悔がないように、日頃から家族や友人に感謝の言葉を伝えていきたい」と話した。

令和7年10月31日(金) 第7学年 親子ふれあい校外研修(地域探検)

地域のよさを知り、地域とかわり、地域を発展させる生徒をめざして、7年生は、総合的な学習の時間において、「地域探検」を10月31日(金)午前中に行いました。今回の活動は、各班にわかれて、飯塚市とその周辺の地域の有名な場所(4コースのうち1コース選択)に、バスで行き、与えられた課題を班員と力を合わせて解決するというウォークラリーでした。親子ふれあい行事として、保護者30名が参加してくださいました。子どもたちにとっては、新たな発見や気づきがあり、有意義な半日になったと思います。

(コース)

- 王塚装飾古墳、飯塚市歴史資料館
- 飯塚市歴史資料館、旧伊藤伝右衛門邸
- 旧伊藤伝右衛門邸、囊祖八幡宮・本町商店街
- 羊羹工房測上、囊祖八幡宮・本町商店街

(旧伊藤伝右衛門邸課題例の一部)

- 伊藤伝右衛門邸の部屋の数はいくつ?
- 食堂の食器棚に描かれている植物と生物は何ですか?

(生徒感想)

- 協力して課題を解くことができてよかったです。
- みんながしっかり集団行動ができていて、よかったです。はじめて伊藤伝右衛門邸に行って楽しかったです。
- 班のみんなで行動する楽しさや課題に答える楽しさがありました。



令和7年11月27日(木) 第8学年 職業人による「夢授業」

ワークショップ形式で(20分の活動を3回)で職業人から話をきいたり、実演をみたり、体験したりしました。子どもたちは、交流活動を通して、働くことの意義や働く人の思いを知りました。

〈来校された職業人〉

理学療法士、海上自衛隊、陸上自衛隊、社会起業家、塾経営者、英語通訳、ドローンパイロット、アンガーマネジメント講師、鉄道電気工事、カメラマン、保険業、市議会議員、社会福祉士、救急救命士、警察官、消防士、言語聴覚士

(生徒の感想)

- 私は、医療系のドラマが好きで、理学療法士の話を聴けるのが楽しみでした。話をきいてとても大変な仕事だと感じましたが、人の命を守る仕事で感動しました。今後、理学療法士について調べて、将来に生かしたいと思いました。(1組)
- 保険業の仕事はとても大変だけどやりがいのある仕事だなあと感じました。お金をあつかうのだけでなく、お客様ときちんと相談しながらプランを考えていくことを知って保険業の新たな魅力を知ることができました。(2組)
- 塾経営者の話をきいて、仕事は、自分の思いを大切にすることと自分がだれかを幸せ、笑顔にしたいと思っすることが大切だと思いました。今後の生き方の参考になりました。(3組)
- 社会起業家の話をききました。仕事は全部完璧をめざすのではなく、優先順位を決めてやるのが大切だとわかりました。今後の生活にいかしたいと思いました。(3組)



令和7年6月30日(月)  
第9学年 一日校外研修(企業訪問、スペースLABO)

6月30日(月)、9年生は一日校外研修を行いました。保護者は、7名参加していただきました。朝8時半に学校を出発して、午前中は、総合的な学習の時間で「筑豊地区の企業が抱える課題を解決することを通して、自己の生き方や身近な社会のかかわり方について考える。」活動の一つで、学級ごとに企業を訪問しました。

- 1組 アイテックシステム株式会社(飯塚市横田)見学
- 2組 一番食品株式会社(飯塚市伊川)見学
- 3組 フジキ印刷株式会社(飯塚市伊岐須)見学

学級ごとに共通課題があります。

- 1組の共通課題は、「人材不足の中で働きがいがある会社にするためにどうしたらいいか」です。
- 2組の共通課題は、「採用(応募)を増やすためにはどうしたらいいか」です。
- 3組の共通課題は、「新しく変わった新社名、業務内容をより多くの方々に知っていただくにはどうしたらいいか。」です。

※ この活動は、読賣新聞7月1日(火)筑豊版に掲載されました。

午後は、スペースLABO(北九州市博物館)に行き、プラネタリウム体験や展示等見学を行いました。「スペースLABO」は、国内最大級のプラネタリウムや大型竜巻発生装置などを備えた、体験・体感型の科学館です。最新の科学技術を使った展示や実験を通じて、科学の面白さを体感できました。



総合的な学習の時間(グローバルタイム)においては、探究学習の4つのプロセス(「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」)を行います。また、総合的な学習の時間の前後に、関連のある教科、学級活動や道徳科等を教科等横断的に行います。

一日校外研修を終えて

- 実際に企業をみて課題解決に向けてイメージができました。働いている人がやりがいを持って仕事をしているのがわかりました。(1組)
- スペースLABOでは、はじめてみたことや知ったことがたくさんありました。科学について興味がわきました。また、プラネタリウムを体験できてよかったです。(1組)
- 一番食品さんはたくさん工夫をしていることがわかりました。今後もっとよくするためのアイデアを考えていきます。(2組)
- フジキ印刷さんは、疑問に思っていたことを丁寧に答えていただき解決の参考になりました。(3組)
- スペースLABOでは、天体や科学を五感で感じられて楽しかったです。星座や科学に興味を持ってました。(3組)



飯塚市立小中一貫校飯塚  
鎮西校の生徒が30日、市内  
の会社を訪問し、それぞれ  
の職場が抱える課題を聞き  
取った。企業活動について  
考えを深め、社会とのかか  
わり方を学ぶのが目的で、  
課題解決のアイデアを出し  
合い、9月に発表する予定。

### 飯塚の小中一貫校9年生

## 企業訪問 課題聞き取り



バイオトイレについて説明を受ける生徒たち



った作業の様子を見学。微  
生物を利用して悪臭を抑え  
る同社の「バイオトイレ」  
についても説明を受けた。  
吉田和彦会長は「労働人  
口が減る中、若い世代にと  
って働きがいのある会社に  
するにはどうしたらいいか  
を皆さんに考えてもらいた  
い」などと語りかけた。  
山中彩乃さん(14)は「暮  
らしを便利にしてくれるも  
のが、細かい作業でつくら  
れていくことに感動した。  
課題についてはクラス全体  
で考えたい」と話した。9  
月の「最終報告会」には企  
業の担当者も招くという。

読賣新聞7月1日(火)筑豊版



# 企業課題 生徒が解決策

## 飯塚鎮西校 幹部ら前に報告会

飯塚市の小中一貫校飯塚鎮西校9年生(中学3年生)約100人が、総合的な学習の時間を活用して地元企



トイレトペーパーに企業名を印刷するアイデアを発表する生徒

業が抱える問題の解決方法を考え、導き出したアイデアの報告会を行った。

学習に協力したのは、同市の食品製造業「一番食品」、機械電機製造業「アイテックシステム」、印刷・デジタルコンテンツ作成業「フジキアドワークス」。

6月に生徒がそれぞれの会社を訪れて意見交換し、人材確保や働きがいのある職場作りといった課題を確認していた。

9月26日に行った報告会では、3社の幹部も出席する中、グループに分かれた生徒が、自分たちで作成した動画などを使って解決策を発表した。

人材確保に向けては、「自社の商品や社内の雰囲気やSNSを活用して発信」や「性格診断を取り入れたイベント」の実施」な

どのアイデアが出た。また、会社の知名度向上について「社名を印刷したトイレトペーパーを作る」といったユニークな意見もあった。

SNSを用いた求人提案した蒲地燈輝君(15)は「もっとSNSを活用する方法があるのではないかと考えた。どのSNSが(求人)に強みがあるのかを考

えるのに苦労した」と振り返った。フジキアドワークスの藤木秀憲社長は「はっ

とさせられるアイデアがいくつかあり、勉強になった」と話した。



今から24年前に「総合的な学習の時間」がはじまりました。鎮西中学校は、第1学年においては、「大発見!八木山の宝」と題し、生徒に、「ひと(家族、地域の人、高齢者、専門家など)」、「もの(山、川など自然環境、建造物、特産品など)」、「こと(風俗習慣、伝統行事、地域・家庭行事など)」にかかわらせました。また、数年後、生徒会を中心に3年生全員を「校区ウォークラリー」に参加させました。鎮西中学校では、他に職場体験、福祉体験なども行っていた時期もありました。職員の異動、コロナ禍などもあり、活動はなくなっていきましたが、今回、十数年ぶりに、まちづくり協議会、体育振興会、交流センターなどの協力で、再び、しかも、3年生(9年生)だけでなく全校生徒が「校区ウォークラリー」に参画することができました。

自分達の暮らす地域に愛着を感じ、誇りをもてるということはすばらしいことです。地域への愛着は、地域を理解することから始まると考えます。「校区ウォークラリー」を通して、古い歴史をもつ鎮西地区の史跡・文化財を知り、よさを生徒自身に感じてほしいです。そして、そこで発見した感動を大切に、地域の一員としての自覚を高め、地域を発展・貢献させようとする生徒に育ってほしいと願います。

## 「校区ウォークラリー」令和7年11月9日(日)

### 1 集合場所

- 鎮西交流センター大研修室

### 2 コース

- 八木山地区(約9km) 八木山小学校と学校の往復はバス  
八木山小学校→石坂りんご園→オズの館→竜王山登山道入口→千人塚→老松神社→  
貝原益軒学習の碑→八木山小学校(昼食)→益軒桜街道→農楽園→八木山小学校

### 3 競技の方法および参加上の注意など

- 一般参加者は約100名、生徒参加約300名、スタッフ参加者約100名
- 1グループは4人か5人とする。グループごと3~4分おきに出発する。
- 各ポイントでカードに通過スタンプを押してもらい、ゲームをして得点を記入する。
- 昼食場所は、八木山小学校(カレーとお茶)とする。

### (生徒感想)

- きつかったけど楽しいゲームがたくさんあったので、なんとか行けました。スタートからゴールまでたくさんのスタッフや地域の人が出て、とても感謝しています。とても楽しかったです。またやりたいです。(7年生)
- 地域の人や鎮西地区のことを今まで以上に知れたので楽しかったです。(7年生)
- 歩いていく中で、鎮西地区の人はみんな優しくウォークラリーをしてよかったなあと思いました。(8年生)
- スタッフとしての仕事をしっかりできました。これからもこういうボランティア活動をやってみたいです。(8年生)
- 八木山地区は、とても歴史がある場所だとわかりました。名所を巡り、地域の魅力を再発見できました。(9年生)
- スタッフとして参加しましたが、日頃話したことのない人といっしょに仕事ができて、いい経験になりました。楽しかったです。(9年生)

読賣新聞 11月22日(土)(筑豊版)

## 八木山でウォークラリー 史跡や名所巡る

飯塚市の八木山地区を巡るウォークラリー大会が行われ、約400人が約9kmのコースを歩いた。

地域の史跡や名所を知ってもらおうと鎮西地区まちづくり協議会が主催し、19回目。9日に開催され、地域住民のほか、小中一貫校飯塚鎮西校中学部の生徒も参加した。

戦国時代の戦場跡である千人塚やハイキングコースとして人気の龍王山の登山道入り口などにチェ

ックポイントが設けられ、クイズなどのゲームを楽しんだ。

江戸時代に活躍した儒学者、本草学者の貝原益軒が幼年時代を過ごした場所に立つ碑では、参加者は早口言葉に挑戦。言葉につまったり、言い間違いをしたりすると笑いが起きていた。

同校9年(中学3年)の瀬野杏果さん(15)は「これまで地域の方々とこのような形でふれ合う機会はなく、楽しかった」と話していた。

貝原益軒の碑の前で早口言葉に挑戦する参加者



# ウォークラリーで地域交流

## 飯塚鎮西中生 スタッフ側でも参加

飯塚市の鎮西地区の自然や史跡を巡る「ウォークラリー」が9日、開かれた。19回目の今回は、地元住民ら100人のほか、地区内の飯塚鎮西中の全校生徒約300人が実際に歩くグループとスタッフに分かれて



山道を元気よく歩く飯塚鎮西中の生徒

深めた。

コースは八木山小を発着点とした約9km。生徒は複数人のグループを組み、リッポン園や神社、江戸時代の儒学者ゆかりの碑など計10カ所のチェックポイントを



回り、生徒が考えた八木山にちなんだクイズや、紙飛行機を飛ばして距離を競うゲームをして楽しんだ。鎮西地区まちづくり協議会主催。スタッフ側として臨んだ



上村花乃さん(14)「同中2年」は「コロナ禍ではできなかった地域のひととの交流ができた」。グループで歩いた松川愛瑠沙さん(13)「同1年」は「初めての道もあり、知らないことがた

さんあつたと言っていた  
(中山雄介)



11月18日(火)文化庁独立行政法人日本芸術文化振興会劇団青い鳥による「正劇アラビアン・ナイト(ストリート劇 別名千夜一夜物語)」を大アリーナで上演しました。魔人に導かれ誠の勇氣、真実の愛を知る事となる少年少女たちの物語です。信じる心、命の尊さを描いた感動の作品です。



## 「アラビアン・ナイト」 令和7年11月18日(火)



### 生徒の感想

- とても迫力があって、声や動きもわかりやすく映画館にいたように思いました。体育館がひとつの劇場になっていたことに驚きました。劇の世界に入った気持ちになりました。(7年生)
- 迫力がある劇をしていて、とてもすごかったです。序盤の罠にかかったカラスが最後に出てきたことに驚きました。命や友情の重さなどいろいろなことを考えることができました。(7年生)
- 迫力があり、細部までこだわっていたステージと、とても上手な演技で、物語に没頭することができました。最後の場面の命の重さという言葉に共感しました。最後まで諦めずに頑張る姿に感動して自分も勇気づけられました。(8年生)
- このような劇を生でみることはなかったので、貴重な体験をする事ができました。内容がとてもおもしろく、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、機会があればみたいです。(8年生)
- 物語の世界へそのまま吸い込まれるような圧倒的な臨場感に満ちていた。今回の観劇を通して、舞台芸術に関心を持ったので、舞台芸術についてもっと詳しく調べてみたいです。(9年生)
- 思いやりの心が自分にかえてくる。同時に悪いことをしたら巡り巡って自分に災いをもたらすことも伝わってきました。そして、行動で人の気持ちが変わることも学びました。(9年生)

### 保護者の感想

- 迫真の演技と大道具の迫力、その中で笑えるシーンもあり、とても楽しかったです。このような機会に参加できて本当によかったです。帰って子ども達とまた話したいです。

飯塚鎮西校中学部の皆さん

正劇

2025年11月18日

# アラビアン・ナイト



Sayaka 和乃

劇団

青い鳥ティアティカルカンパニー

